



# 週間情報



No.2833

発行日 平成28年8月30日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 第45回全国消防救助技術大会を開催

一般財団法人全国消防協会

平成28年8月24日(水)、愛媛県松山市(松山中央公園)において、原田総務副大臣、青木消防庁長官、秋本公益財団法人日本消防協会会長、中村愛媛県知事、雲峰松山市議会議長をはじめ多くの来賓の方々をお迎えし、第45回全国消防救助技術大会を開催しました。

本大会は、「魂 ～ORANGE IMPACT～」のスローガンの下、昭和47年の第1回東京大会から44年の時を経て、はじめて瀬戸内海を渡り、四国の地・松山市で開催され、各地区支部から選抜された約1,000名の隊員が、陸上の部7種目及び技術訓練、水上の部7種目及び技術訓練において、日頃の訓練成果を披露しました。

開会式では、松山市消防団音楽隊の演奏により、出場隊員が力強く入場し、開催地の芳野松山市消防局長の開会宣言、消防殉職者並びに熊本地震にて犠牲になられた方々に黙とうを捧げた後、国旗・市旗・大会旗の掲揚が行われました。その後、高橋大会会長及び野志松山市長のあいさつ、来賓祝辞の後、出場隊員を代表して松山市消防局の片岡隊員が宣誓を行いました。

閉会式では、入賞者(チーム)を代表して各種目1名(チーム)に対し表彰が行われ、高橋大会会長の講評の後、芳野松山市消防局長から栗村仙台市消防局長に大会旗が引き継がれました。最後に、次期開催地の栗村仙台市消防局長のあいさつと、芳野松山市消防局長の開会宣言により幕を閉じました。

また、各種体験型の防災イベントも同時開催され、30,000人を超える来場者があり、住民参加型の大会として成功裏に終了しました。

※ 大会の様子については、当協会機関誌「ほのお」9号(9月25日発行)に掲載予定です。



【陸上の部】



【水上の部】

## ◆ 平成28年度全国優良消防職員表彰式を開催

一般財団法人全国消防協会

平成28年8月23日（火）、愛媛県松山市（松山全日空ホテル）において、平成28年度全国優良消防職員表彰式を開催しました。

本表彰は、全国約16万人の消防職員のなかから、永年にわたり消防業務に精励し、消防の使命達成に貢献された消防職員の方々に贈られるものです。

表彰式では、高橋会長のあいさつに続き、受賞者を代表して各地区支部から選ばれた9名の職員に対して、高橋会長から表彰状と記念品が授与されました。その後、原田総務副大臣、秋本日本消防協会会長からご祝辞をいただき、最後に受賞者を代表して、松山市消防局の岡耕司氏が謝辞を述べて閉会となりました。



【表彰状及び記念品の授与】



【受賞者代表による謝辞】

## ◆ 消防長研修会（東海支部）を開催

全国消防長会東海支部

全国消防長会東海支部では、平成28年8月19日（金）、愛知県名古屋市（ザ・グランクレール）において、平成28年度事業計画に基づく全国消防長会消防長研修会を開催しました。

研修会では、東海地区の消防本部から77名の消防長が参加し、関係機関から次の内容について講義していただくとともに、須貝事務総長から本会各種事業等についての報告や説明も併せて実施しました。

### 【講義内容】

- 消防行政の現状と課題について  
講師：消防庁 審議官 猿渡 知之 氏
- 消防と報道について  
～マスコミ対応を適切に行うために～  
講師：万葉総合法律事務所  
弁護士 花井 増實 氏



【研修会の様子】

## ◆ 第1回防災推進国民大会に参加

### 全国消防長会

全国消防長会は、平成28年8月27日（土）及び28日（日）、東京大学本郷キャンパスで開催された「第1回防災推進国民大会」（主催：第1回防災推進国民大会実行委員会）において、防災推進国民会議のメンバーとして、東京消防庁と協力し「地震ザブトン」体験のほか各種展示を行うとともに、ディスカッション等に参加し、国民の防災意識の普及啓発を図りました。



【オープニングセレモニーの様子】



【展示ブースの様子】



【防災ディスカッションの様子】  
(熊本市消防局長 中村 一也 氏)



【パネルディスカッションの様子】  
(東京消防庁 防災部参事兼防災安全課長 門倉 徹 氏)

## 消防本部の動き

### 訓練・演習

#### ◆ 解体建物を使用した活動訓練を実施

##### 千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、平成28年7月26日（火）及び27日（水）、都市部における実践的な消防救助活動の向上のため、解体予定となっているJR東日本千葉支社の旧社屋を使用し、活動訓練を実施しました。

訓練は、当市消防局75名のほか、千葉県警察本部31名が参加し、大規模地震災害における座屈建物の救助現場を想定した「都市型救助訓練」や中高層建物での火災を想定した「消防活動訓練」等を実施しました。

参加した各隊員は「警察との顔の見える関係ができて良かった。」「実際の建具や床・壁などを破壊でき、救助技術の伝承という意味でも貴重な訓練となりました。」と訓練を振り返っており、消防・警察ともに十分な効果が得られました。

今後も関係各機関との訓練を実施し、連携強化と情報共有を行ってまいります。



【訓練の様子】

#### ◆ 多数傷病者発生事故への対応訓練を実施

##### 神戸市消防局（兵庫）

全国各地で多数の傷病者が発生し病院搬送する事案が多発しているなか、平成28年4月に神戸市内を通る高速道路の工事現場において、橋桁が落下し建設作業員10名が死傷した事故が発生したことを踏まえて、神戸市消防局では、8月3日（水）、今後同様の災害状況のなかでも、安全・確実・迅速に災害対応できるよう消防隊員・救助隊員・救急隊員を対象とした多数傷病者発生事故への対応訓練を実施しました。

訓練は、①講義（多数傷病者対応概論、神戸市の災害発生時の体制、災害現場医療対応の原則、DMATとの連携、災害時の現場医療）②実技（一次トリアージ実施要領と記入要領）③図上訓練（想定付与型シュミレーション訓練）の3部構成で行い、特に図上訓練では、災害経過ごとにディスカッションを交えて部隊配置や搬送経路などを討議し、制限時間内で議論と決断する困難さを体験することができ、充実した内容となりました。



【講義の様子】



【図上訓練の様子】

## 研 修 等

### ◆ 親子救急入門コースを開催

人間東部地区消防組合消防本部では、平成28年8月6日（土）、当消防本部において、管内の小学校に在学する小学校4年生から6年生までの親子で参加できる方を対象に、救急入門コースを開催しました。

このコースは、将来を担う子供たちに救命の心を育むことを目的とし、当消防本部では初めて実施しました。講習では、親子が心肺蘇生法及びAED取り扱いの実技を交互に行うもので、参加者の親子からは「命について考える良いきっかけになった。また、参加したい。」と声を掛けられました。指導した職員は、子供を育てる親と将来を担う幼年層が真剣に取り組む姿に、このコースの必要性を再認識しました。

#### 人間東部地区消防組合消防本部（埼玉）



【実技の様子】

## そ の 他

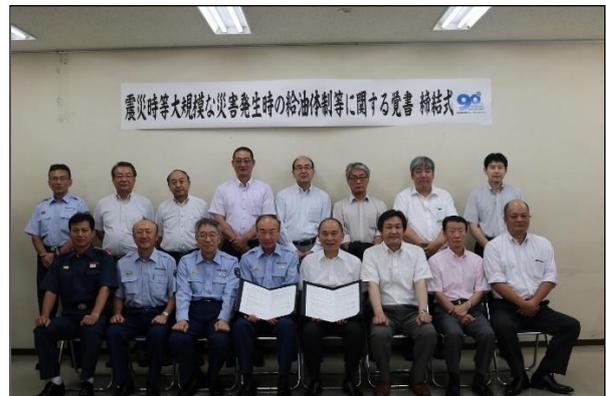
### ◆ 震災時における給油体制の覚書を締結

横浜市消防局鶴見消防署では平成28年8月5日（金）、主にタンクローリーによる運送業を営む事業者団体である「鶴見タンクローリー安全協議会」との間で、「震災時等大規模な災害発生時の給油体制等に関する覚書」を締結しました。

甚大な被害をもたらす大規模地震などが発生した場合に備え、消防活動に不可欠である消防車両の燃料確保の強化を図るため、鶴見タンクローリー安全協議会の協力を得て、大規模な災害が発生した際、加盟事業所に設置されている自家用給油取扱所を利用し、臨時的に消防車両へ給油できる体制を整備したものです。

消防活動が継続できる体制の充実強化を図ることにより、「災害に強いまち」、「安全・安心を実感できるまち」、こうしたまちづくりに向けてさらに一歩前進です。

#### 横浜市消防局（神奈川）



【締結式の様子】

### ◆ 成人式会場で消防団員を募集

大館市消防本部では、昨年に引き続き平成28年8月15日（月）、大館市民文化会館で行われた大館市成人式において、新入団員の募集活動を行いました。

当市も少子高齢化が進んでおり、成人式の参加者は年々少なくなっておりますが、体力と活動力のある若い団員を確保するため、引き続き実施したいと考えております。また、今年は消防団加入促進支援事業を利用し、女性版の着ぐるみを作成中であり、完成後は市内の大型イベントにおいて、未来の消防団員となる子ども達へ意識付けできるよう広報・啓発活動に努めていきます。

#### 大館市消防本部（秋田）



【会場の様子】

## ◆ 女性消防吏員活躍推進に係るイメージキャラクターを作成

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部（宮城）

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部では、平成28年8月、双子のイメージキャラクター「かなえ」ちゃん「みなみ」ちゃんを作成しました。

「消防は男性職場である」とのイメージを払拭し、女性からも消防がより身近な存在として親しまれるきっかけとなるように、女性のキャラクターとしました。キャラクターデザインも当消防本部の女性消防吏員が担当しています。

今後は、刊行物・行事等に活用して当消防本部のイメージキャラクターとして積極的に活躍し、住民に親しまれそして信頼される消防を目指していきたいと思っております。

「かなえ」ちゃん「みなみ」ちゃんの応援をよろしくお願いいたします。



【左：「かなえ」ちゃん 右：「みなみちゃん」】

## ◆ 消防本部のメールアドレス変更について

### ○ 94415 京築広域圏消防本部（福岡）

新メールアドレス [keisyou-honbu@fukuoka.keichiku119.jp](mailto:keisyou-honbu@fukuoka.keichiku119.jp)

※理由 現在使用中の代表メールアドレスに不都合が生じたため

平成28年9月1日から運用開始

## 国等の動き

### 消防庁通知等

## ◆ 平成27年中の都市ガス、液化石油ガス及び毒劇物等による事故状況について（8月25日、消防危第160号）

危険物保安室長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

都市ガス、液化石油ガス及び毒劇物等による事故（以下「ガス事故等」という。）防止対策につきましては、平素より御尽力を賜り感謝申し上げます。

この度、例年調査をお願いしている標記の件について、平成27年中の調査結果を別添（省略）のとおり取りまとめました。

貴職におかれましては、本調査結果によるガス事故等の状況を十分に考慮し、今後ともガス事故等の防止に御配慮くださいますようお願いいたします。

なお、貴都道府県内の市町村に対しても、この旨周知くださいますようお願いいたします。

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2808/pdf/280825\\_ki160.pdf](http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2808/pdf/280825_ki160.pdf)) に掲載されています。

### 【問い合わせ先】

危険物保安室

担当：鈴木、山本、神山

◆ 「地域防災力充実強化大会 in 富山 2016」の開催（8月24日、消防庁）

消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るとともに、地域住民や自主防災組織をはじめ、教育、医療・福祉関係者等を含めた各界各層の連携を深めることを目的として、富山県富山市において「地域防災力充実強化大会 in 富山 2016」を開催します。

東日本大震災を経験し、いつ発生するか予測のつかない災害からの被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要です。

平成 25 年 12 月に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受けて、全国各地で地域防災力を充実強化する取組が進められています。

このような中、各地域において地域防災力の充実強化の重要性についての理解をさらに促進するため、富山県内をはじめ各地域・各種団体の取組等を紹介するとともに、地域防災への理解を深めていただくため、地域防災力充実強化大会を富山県富山市において開催いたします。

1 日時及び場所

日時：平成 28 年 8 月 31 日（水）13 時 00 分～17 時 00 分

場所：富山県民会館（富山県富山市新総曲輪 4-18）

2 内容（詳細別紙（省略））

（1）基調講演（常葉大学大学院環境防災研究科長 重川 希志依 氏）

（2）事例発表（高岡市消防団ほか）

（3）総括（神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏）

3 参加人員 約 1,200 名

4 主催及び共催

<主催> 消防庁、富山県、富山市、（公財）富山県消防協会

<共催> 北日本新聞社

○ 全文は、消防庁ホームページ

（[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/08/280824\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/08/280824_houdou_1.pdf)）に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部地域防災室

担当：伊勢村対策官、山下係長、吉田事務官

◆ 「地域防災力向上シンポジウム in 京都 2016」の開催（8月26日、消防庁）

地域防災の新たな担い手として期待される女性や若者をはじめとして、地域住民や自主防災組織、企業、教育、医療・福祉等各分野の連携を深め、地域の防災力を高めることを目的として、京都府亀岡市において「地域防災力向上シンポジウム in 京都 2016」を開催します。

近年、日本各地では様々な災害が発生しており、南海トラフ地震など大規模地震の発生も危惧されている中、被害を最小限にとどめるためには、日頃から住民一人ひとりが災害に対して備えるとともに、地域における連携を深めることが重要です。

本シンポジウムは、地域防災力向上に寄与する各地の先進事例を共有し、またパネルディスカッションを通じて参加者一人ひとりが地域防災についての理解を深める一助とするため、京都府亀岡市において開催します。

1 日時及び場所

日時：平成 28 年 9 月 3 日（土）13 時 30 分～16 時 20 分

場所：ガレリアかめおか（京都府亀岡市余部町宝久保 1 番地）

2 内容（詳細別紙（省略））

（1）基調講演（京都大学防災研究所 藤田 正治 氏）

- (2) 事例発表 (亀岡市消防団つつじ分団ほか)
- (3) パネルディスカッション (パネリスト：亀岡市長 桂川 孝裕 氏ほか)  
(コーディネーター：KBS 京都アナウンサー 竹内 弘一氏)

3 参加人員 約 400 名

4 主催及び共催

<主催> 消防庁、京都府、亀岡市、(公財)京都府消防協会、亀岡市防災会議

<共催> 京都新聞社

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/08/280826\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/08/280826_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

**【問い合わせ先】**

国民保護・防災部地域防災室

担当：伊勢村対策官、山下係長、吉田事務官

**情報提供**

**◆ 第 21 回防災まちづくり大賞の募集開始について (消防庁)**

このたび消防庁では、本年度の防災まちづくり大賞の募集を開始しました。募集概要は次のとおりです。

**■ 募集スケジュール**

募集締切 : 平成 28 年 9 月 30 日 (金)

視察先決定等 : 平成 28 年 12 月上旬 (予定)

表彰式 : 平成 29 年 3 月上旬 (予定)

(表彰式は、都内で開催する予定です。なお、表彰式出席のための旅費は出席者の御負担となります。)

**■ 応募要件**

主な応募要件・選定基準の概要は次のとおりです。なお、詳細については、実施要綱・募集要項 (pdf 形式) をダウンロードのうえ、御参照ください。

**● 対象となる組織**

次のいずれかに該当する取組を実施している組織、団体を対象としています。

○ 防災対策に関するハード的な取組を実施している組織、団体

○ 防災対策に関するソフト的な取組を実施している組織、団体

○ 防災対策に関する普及啓発や情報発信等の取組を実施している組織、団体

○ 地域における住宅防火対策を通じて災害や火災に強いまちづくりを推進している組織、団体

**● 選定基準**

審査に当たっては、防災に関する様々な取組、工夫・アイデアに関し、以下に掲げる視点から総合的に評価の上、災害に強い安全なまちづくりの推進に顕著な功績のあった事例を選定します。

○ 防災上や住宅防火上の効果が高い (防災や住宅防火意識の高揚含む)

○ 他の組織、団体にとって応用可能な模範性がある

○ 自発性・自主性があり、多様な人が参加している

○ 地域特性に配慮している

○ 継続性があり、日常生活に浸透・定着している

○ 先進的で創意工夫の跡が見られる

○ 住民、団体、企業、行政等多様な主体と連携している

○ 人材育成、コミュニティ形成に寄与している

○ まちづくりへの発展が期待される

(以下省略)

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/html/life/machidukuri\\_taisyo/index.html](http://www.fdma.go.jp/html/life/machidukuri_taisyo/index.html)) に掲載されています。

**【問い合わせ先】**

国民保護・防災部地域防災室住民防災係

TEL : 03-5253-7561 FAX : 03-5253-7576

E-mail [chiikibousai@ml.soumu.go.jp](mailto:chiikibousai@ml.soumu.go.jp)

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)